

ご挨拶



三次市立八次小学校のホームページによろしくお見せしました。
八次小学校に赴任し2年目となります校長の赤木 実です。

本校は、昨年度創立150周年を迎えました。本年度は新しく70名の新入生を迎え、全校児童473名で、これまでの伝統を引き継ぎながら151年目として、新たな一歩を踏み出していきたいと思っております。

さて、「窓辺ににおう 桜花〜♪」で始まる本校の校歌は、昭和27年1月に完成しました。以来、73年間歌い継がれてきています。当時、本校に勤めておられた先生方が、「子どもたちにとって、毎日の生活のはげみ（やる気）となり、明日への成長の指針（道しるべ）となるように」との願いを込めて作られた校歌です。

私は、この校歌には3つの大切なことが歌われていると思っております。

1つ目は、八次の自然の素晴らしさです。

- (1番) 窓辺ににおう**桜花**・・・春の桜の美しさ
- (2番) 清き流れの**馬洗川**・・・八次のほぼ真ん中を流れる馬洗川
- (3番) 雄雄しき姿**比叡尾山**・・・学校からもよく見える比叡尾山



2つ目は、子どもたちに身に付けてほしいことです。

- (1番) 高き**真実（知）**・・・しっかり勉強を頑張ろう
- (2番) 深き理想の**徳（徳）**・・・優しさや友だちを大切にする心（道徳）
- (3番) 働く力（**体**）・・・運動をしっかりして体力をつけよう

3つ目は、1～3番に共通して歌われている **伸びゆくわれら 幸多し** の歌詞です。

この歌詞には、「大きく成長するみんなが幸せになりますように」という願いが込められていると思っております。

これからも八次小学校の校歌を大切に歌い継ぎ、子どもたちに「知・徳・体」バランスの取れた力をつけることをめざすとともに、子どもたちを中心に置いた「**子どもを主語とした学校づくり**」をすすめ、子どもたちが笑顔で、一人ひとりがキラリと光り輝く学校にしていきたいと考えています。

学校教育目標は、引き続き、

「進んで学び ともに伸びる ～ 自主 協力 創造 ～」

です。

そして、本年度、私たち教職員は「**信じて 任せて ほめて 輝く 八次っ子!**」をキャッチフレーズとし、子どもたちの持っている力を信じ、子どもたちの良いところをたくさん見つけ、しっかりと褒め、様々な場面でリーダーを経験し活躍させることで、可能性を伸ばしていきたいと思っております。

子どもたちの幸せと成長を願い、保護者・地域の皆様としっかり連携・協力し、一緒に子どもたちを育てていきたいと考えておりますので、よろしくお願いたします。



令和7年 4月

三次市立八次小学校長 赤木 実